

2022 年 IEEE 東京支部 総会資料

2022 年 3 月 10 日

IEEE 東京支部

<https://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

2022年IEEE東京支部総会

総 会

日 時： 2022年3月10日（木） 14時50分～15時25分

場 所： WEB会議（Zoom）

議 題： **【報告事項】**

第1号議案： 2021年活動報告

第2号議案： 2021年決算報告

第3号議案： 2022年活動計画

第4号議案： 2022年予算

新Fellow表彰式

日 時： 2022年3月10日（木） 15時35分～16時05分

場 所： 同 上

講 演 会

日 時： 2022年3月10日（木） 16時20分～17時30分

場 所： 同 上

講演者： 矢野 和男 氏（㈱日立製作所）（2020年、IEEE Frederik Philips Award受賞）

演 題： 「予測不能の時代 データが明かす生き方、企業、そして幸せ」

2021-2022 年 IEEE 東京支部役員・理事・委員会

1. 役員

Chair	支部長	中野 義昭	(東京大学)
Vice Chair	副支部長	小林 正宏	(住友電気工業)
Secretary	セクレタリ	重松 昌行	(住友電気工業)
Treasurer	トレジャラ	前原 文明	(早稲田大学)

2. 理事会メンバー

*中野 義昭 (東京大学)	*中村 聡 (神奈川大学)
*小林 正宏 (住友電気工業)	*鈴木 浩 (日本経済大学大学院)
*重松 昌行 (住友電気工業)	今井 元 (元 日本女子大学)
*前原 文明 (早稲田大学)	Prakash Chaki (NEC / 東京大学)
*坂東 幸浩 (NTT)	徳田 英幸 (NICT)
*粕川 秋彦 (古河電気工業)	滝嶋 康弘 (KDDI 総合研究所)
*横田 知之 (東京大学)	羽渕 裕真 (茨城大学)
*笠 史郎 (明治大学)	稲森 真美子 (東海大学)
*菅野 敦史 (NICT)	奥村 治彦 (東芝)
*津村 英志 (住友電気工業)	

(注： *印は、理事会の Voting Member)

3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Operations	坂東 幸浩 (NTT)	添谷 みゆき (東芝)	三上 弾 (NTT)
Fellow Nominations	粕川 秋彦 (古河電気工業)	森田 逸郎 (KDDI 総合研究所)	川北 泰雅 (古河電気工業)
Membership Development	横田 知之 (東京大学)	賀屋 秀介 (古河電気工業)	熊田 亜紀子 (東京大学)
Nominations	笠 史郎 (明治大学)	中村 守里也 (明治大学)	李 ひよん (芝浦工業大学)
Technical Program	菅野 敦史 (NICT)	松尾 綾子 (東芝)	松本 敦 (NICT)
Publications	津村 英志 (住友電気工業)	重松 昌行 (住友電気工業)	浜田 耕太郎 (住友電気工業)
Student Activities☆	中村 聡 (神奈川大学)	植村 あい子 (日本大学)	吉田 嵩 (東京都立産業技術 高等専門学校)
History	鈴木 浩 (日本経済大学大学院)	河東 晴子 (三菱電機)	田中 和典 (住友電気工業)

2021年東京支部活動報告

2021年12月17日

Organizational Activities

- 2021年IEEE東京支部総会
3月25日(木) 14:50～15:20, Hybrid(機械振興会館), 参加者：37名
2020年活動実績および会計、2021年活動計画および予算が報告された。
- 理事会
 - ・第1回：2021年3月25日(木) 12:00～14:00 Hybrid(機械振興会館), 参加者：18名
 - ・第2回：2021年6月3日(木), 15:00～17:50 Hybrid(住友電気本社), 参加者：21名
 - ・第3回：2021年9月28日(火), 15:00～17:00 Hybrid(住友電気本社), 参加者：20名
 - ・第4回：2021年12月7日(火), 15:00～17:00 Hybrid(住友電気本社), 参加者：20名

Membership Development Activities

- 会員増加と維持の取組
 - ・会員維持施策として、在籍年数バッヂを製作。同一デザインで色の異なる5, 10, 20, 25, 30, 40年の6種類を製作し、毎年2月に配布する。
※2021年2月配布数(5年：214、10年：218、20年：189、25年：130、30年：101、40年：39、40年以上：345、合計：1236)
- フェロー・シニア会員増強の取組
 - ・会員を多く擁する企業等組織向けにシニアメンバー昇格奨励の依頼を個別に実施する計画が提案された。各組織内で機動的に奨励活動を促進するキーパーソンを選定し、フェロー推薦、シニア申請を増やす取組みを開始いただいた。この体制での推進方法がどう機能するのかをウォッチし、次年度への取組みへフィードバックする予定。

Chapter Activities

- 国際会議のMOU締結：2件(Joint Chapter)

Professional and Continuing Education Activities

- 講演会
 1. 2021年3月5日(金)：東京支部講演会
演題：「NTTマイルストーン講演会、SC型光コネクタの開発と普及、MPOコネクタ開発及び普及の取組」
講師：杉田悦治氏(株式会社白山)、長沢真二氏(元NTTアクセスサービス)

システム研究所)

場所：Zoom 参加人数：271名

2. 2021年3月25日(木)：東京支部講演会
演題：「Society 5.0 実現に向けた CPS 駆動型社会イノベーション」
講師：喜連川 優 氏 (東京大学生産技術研究所、国立情報学研究所)
場所：機械振興会館、Zoom 併催 参加人数：66名 (内、会場18名)
3. 2021年6月9日(水)：東京支部講演会
演題：「通信用アンテナの研究開発50年」
講師：鹿子嶋 憲一 氏 (茨城大学)
場所：Zoom 参加人数：150名
4. 2021年7月8日(木)：東京支部講演会
演題：「パワーエレクトロニクスが拓く未来社会～重電分野日本女性初の IEEE Fellow への道～」
講師：川上 紀子 氏 (東芝三菱電機産業システム株式会社)
場所：Zoom 参加人数：80名
5. 2021年8月6日(金)：東京支部講演会
演題：「電力システムの課題と将来像について」
講師：岡本 浩 氏 (東京電力パワーグリッド株式会社)
場所：Zoom 参加人数：163名
6. 2021年10月6日(水)：東京支部講演会
演題：「ヘテロ集積メンブレン光デバイス」
講師：松尾 慎治 氏 (日本電信電話株式会社 先端集積デバイス研究所)
場所：Zoom 参加人数：100名
7. 2021年11月4日(水)：東京支部講演会
演題：「自律分散型ロボットシステム研究とその展開」
講師：浅間 一 氏 (東京大学)
場所：Zoom 参加人数：48名
8. 2021年12月15日(水)：東京支部講演会
演題：「パワーエレクトロニクス研究開発を振り返って」

講師：清水 敏久 氏（東京都立大学）

場所：Zoom

● Milestone

1. プッシュプル締結方式を採用したフィジカルコンタクト（PC）接続による光ファイバコネクタ（NTT）
Fiber optic connectors with physical contact (PC) connection adopting pushpull coupling mechanism, 1986-1991
2018-13)
2021年3月5日に東京パレスホテルにて贈呈式を開催した。懇親会は実施しなかった。
2. 世界初の商用セルラーシステムと奥村カーブ（NTT、NTT Docomo（2021-15）
アドボケート承認待ち
3. 自動炊飯器の商業化 1923年 東芝と三菱電機（2021-08）
Commercialization of Rice Cookers, 1923
アドボケートアサイン待ち
4. 動的単一モードレーザー（東工大）
“Dynamic Single-Mode Laser for Long-Wavelength Optical Fiber Communication, 1962- 1986 “
申請準備中
5. 面発光レーザー（東工大）
"Vertical-Cavity Surface-Emitting Laser, 1977- "
申請準備中
6. パルスオキシメトリ 日本光電
申請書作成中
7. ラジコンバス（増田屋）
申請を検討中
8. 座席指定システム MARS（鉄道総研他）
申請を依頼中

Students Activities

- 4月26日 電気通信大学 SB 実験レポートの書き方講座を YouTube で公開
- 5月 電気通信大学 SB 大学院入試対策講座をオンライン開催
- 5月27日 東京工業大学 SB 深層学習オンライン勉強会
(機械学習を用いた認識技術について)
- 6月25日 電気通信大学 SB Latex 導入講座を YouTube で公開

- 7月26日 東京工業大学 SB Deep Learning の FPGA 実装について
(機械学習を用いた認識技術について)
- 11月13日 TOWERS を実施 (オンライン)
- 11月17日・18日 電気通信大学 SB 研究室配属相談会 (オンライン)
- 11月18日・20日 東京農工大学 SB LaTeX ワークショップ
- 7月16日 SB Web Meeting 開催、6つの SB が参加
10月24日 Student online gathering 実施、学生24名とファシリテータ6名が参加

Affinity Group Activities

- Young Professionals (YP)
 - 1月17日 Kick-off meeting+年間活動計画に関するグループディスカッション (Online)、参加者14人。
 - 1月29日 Tokyo YP 役員会+Handover from past-Chair (Online)。
 - 3月13日 Tokyo YP 役員会+活動企画(Online)。
 - 4月4日 YP Radio Episode 1 (Online)+YouTube archive.
 - 4月10日 Tokyo YP 役員会+活動企画(Online)。
 - 5月1日 YP Radio Episode 2 (Online)+YouTube archive.
 - 5月5日 Tokyo YP 役員会+活動企画(Online)。
 - 5月7日 アイディアコンテスト企画会(Online)、参加者7人。
 - 5月15日 YP Radio Episode 3 (Online)+YouTube archive.
 - 5月29日 YP Radio Episode 4 (Online)+YouTube archive.
 - 6月12日 YP Radio Episode 5 (Online)+YouTube archive.
 - 6月20日 Tokyo YP 機械学習勉強会 (Online)。
 - 7月4日 Tokyo YP 役員会+活動企画(Online)。
 - 7月4日 Tokyo YP ロボティクス勉強会 (Online)。
 - 7月10日 YP Radio Episode 6 (Online)+YouTube archive.
 - 7月24日 第17回 Engineer Spotlight (Online)(共催)。
 - 7月31日 Tokyo YP 機械学習勉強会 (Online)。
 - 8月7日 IEEE R10 Sparklers Summit (Online)、Tokyo YP から2人参加。
 - 8月14日 IEEE R10 Sparklers Summit (Online)、Tokyo YP から2人参加。
 - 8月20日 IEEE JC SYWL 企画会に参加(Online)。
 - 8月21日 Tokyo YP アイディアコンテスト開催(Online)、参加者21人。
 - 8月21日 Tokyo YP 機械学習勉強会 (Online)。
 - 8月22日 Tokyo YP ロボティクス勉強会 (Online)。
 - 9月4日 YP Radio Episode 7 (Online)+YouTube archive.
 - 9月11日 (土) 関西 YP Doctoral course workshop (ハイブリッド) (共催)。

(総会－第1号議案)

- 9月18-19日 IEEE YESIST12 国際アイデアコンテスト(Online)、Tokyo YP から参加者6人。
- 9月26日 Tokyo YP 役員会+活動企画(Online)。
- 9月26日 Tokyo YP ロボティクス勉強会 (Online)。
- 10月3日 Tokyo YP 機械学習勉強会 (Online)。
- 10月3日 Tokyo YP ロボティクス勉強会 (Online)。
- 10月23日 (土) Sendai YP 設立2周年記念イベント (共催)
- 10月31日 (土) IEEE Japan SYWL Workshop 2021 in Sapporo ~ Engineers, be ambitious! (ハイブリッド開催) (共催)
- 11月5日 Tokyo YP 役員会+活動企画(Online)。
- 11月6日 Tokyo YP 機械学習勉強会 (Online)。
- 11月6日 Women in Engineering 2021 (主催) : オンライン開催。(共催)
- 11月7日 Tokyo YP ロボティクス勉強会 (Online)。
- 11月13日 IEEE Transdisciplinary-Oriented Workshop for Emerging Researchers (TOWERS)開催 (Online) (共催)。
- 11月17日 Tokyo YP Student Transition and Elevation Partnership (STEP) (Online)、参加者12人。
- 11月28日 Tokyo YP 機械学習勉強会 (Online)。
- 11月28日 Tokyo YP ロボティクス勉強会 (Online)。

● Life Members Affinity Group (LMAG)

1. 2月19日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (オンライン)
2. 3月5日 IEEE Milestone 記念講演会を共催(TPC 主催)
3. 3月25日 2021年 LMA-Tokyo 総会開催
4. 3月25日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (対面)
5. 3月25日 東京支部講演会を共催 (TPC 主催)
6. 4月3日 LMAG 役員会開催 (オンライン)
7. 4月22日 LMAG 役員会開催 (オンライン)
8. 4月26日 ニュースレター31号を発行
9. 6月9日 東京支部講演会を共催 (TPC 主催)
10. 6月17日 LMAG 役員会開催 (オンライン)
11. 7月8日 東京支部講演会を共催 (TPC 主催)
12. 7月14日 LMAG 役員会開催 (一部オンライン)
13. 8月6日 東京支部講演会を主催 (TPC 共催)
14. 8月6日 LMAG 役員会開催 (一部オンライン)
15. 9月1日 ニュースレター32号を発行

- | | |
|------------|-------------------------------------|
| 16. 9月18日 | R10 LMAG Meet に参加 (オンライン) |
| 17. 9月25日 | 東京支部および仙台支部 LMAG と合同で講演会実施 |
| 18. 10月6日 | 東京支部講演会を共催 (TPC 主催) |
| 19. 11月4日 | 東京支部講演会を共催 (TPC 主催) |
| 20. 11月18日 | イブニングサロンを主催 (TPC 共催) |
| 21. 11月18日 | LMAG-Tokyo 役員会開催 (対面) |
| 22. 11月20日 | R10 LMAG Meet に参加 (オンライン) |
| 23. 12月10日 | IEEE LMAG Achievement Award 受賞セレモニー |

● Women in Engineering

◆役員会

1. 2021年2月25日 第2回役員会開催：オンライン開催，12名出席
2. 2021年5月21日 第3回役員会開催：オンライン開催，15名出席
3. 2021年11月2日 第4回役員会開催：オンライン開催，参加10名

◆主催・共催・協賛イベント

1. 2021年3月8日 国際女性デー Online Coffee-break (主催)：オンライン開催，参加8名
2. 2021年6月25日 国際女性エンジニアデーOnline Coffee Break：オンライン開催，参加15名
3. 2021年6月26日 第16回エンジニアスポットライト「大学進学とジェンダー」(共催)：オンライン開催，参加47名(登録65名)
4. 2021年11月6日 Women in Engineering 2021 (主催)：オンライン開催，参加73名(登録75名)
5. 2021年11月13日 TOWERS (協賛)：オンライン開催

Awards & Recognition Activities

● 2021年 新 Fellow 表彰式

東京支部において、2021年に新たに6名の会員が Fellow に昇格した。表彰式を3月25日(木)の総会と同日にハイブリッド形式で実施し、内3名が機械振興会館にて、中野 Chair より、直接 記念のプラークを授与された。

● Milestone 贈呈式

1. 2021年3月5日(金) 11時00分～11時30分
東京パレスホテルにて Fiber optic connectors with physical contact (PC) connection adopting pushpull coupling mechanism の IEEE Milestone 記念式典

が開催され、福田敏男 IEEE 前会長より銘板が贈呈された。懇親会は実施しなかった。

Communication Activities (Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

1. IEEE Tokyo Bulletin の作成、発行

- IEEE Tokyo Bulletin No.129 メルマガ発行 (4月1日)
- IEEE Tokyo Bulletin No.130 メルマガ発行 (4月12日)
- IEEE Tokyo Bulletin No.131 メルマガ発行 (4月28日)
- IEEE Tokyo Bulletin No.132 メルマガ発行 (7月14日)
- IEEE Tokyo Bulletin No.133 メルマガ発行 (8月17日)
- IEEE Tokyo Bulletin No.134 メルマガ発行 (9月7日)
- IEEE Tokyo Bulletin No.135 メルマガ発行 (11月4日)
- IEEE Tokyo Bulletin No.136 メルマガ発行 (12月24日)

2. ホームページ更新

[IEEE 東京支部]

- TOP ページ (新着追加)
- 2021 年 主催・共催講演会 追加
- 2021 年 協賛イベント 追加
- 2021 年 IEEE 東京支部 総会・講演会・新 Fellow 表彰式 ご案内
- 2021 年 IEEE 東京支部 総会/LMAG 総会 開催報告 活動報告
- 2020 年 第4回、2021 年 第1回、第2回、第3回 理事会議事録

[IEEE ジャパンカウンスル]

- TOP ページ (新着追加)
- 会員構成 最新データへ更新
- 2020 年 第3回、2021 年第1回、第2回理事会議事録
- New Fellows (2021) / Senior Member (2021) / Milestone (2021)更新

[東京支部/JC HP 全般]

- 本部 Web Site 変更に伴う、関連ページ・リンク等の更新

3. R10 Newsletter

以下の通り、2021 年に合計 7 件の記事が掲載された。

- January 2021 Edition
 - a) IEEE Tokyo Section - IEEE Japan SYWL Workshop in Hiroshima (and

Online)

- b) IEEE Life Members AG Tokyo - LMAG Tokyo's 10th Anniversary Symposium and IEEE Day Celebrations
 - April 2021 Edition
 - a) IEEE WIE Tokyo/Shin-etsu - IEEE Tokyo/Shin-etsu Joint Section WIE Kick-off Event
 - b) IEEE LMAG Tokyo - All JC LMAGs Jointly Meet Online
 - July 2021 Edition
 - a) IEEE Japan Council - Happy 1st Anniversary of IEEE Engineer Spotlight
 - b) IEEE LMAG Tokyo - Commemorative Lecture Meeting on IEEE Milestone “Physical Contact Push-Pull Technology for Fiber Optic Connectors”
 - October 2021 Edition
 - a) IEEE Tokyo Section LMAG - LMAG-Tokyo's Lecture Meeting “Challenges and Future Vision of the Electric Power System toward Carbon Neutral and Resilience”
4. HP 運営・保守関係
- サーバ環境調査を進める中で HP 応答速度が遅いという問題が顕在化し、HP 保守を依頼している NTT データニューソンに改善方法の検討を依頼し、サーバ PHP (スクリプト言語) のバージョンアップを実施し、年内に完了した。

Other Organizational Activities

● Educational Activities

1. 6月30日 JC EA 第二回打ち合わせ(Online)
2. 6月～ Tokyo YP Online Study Meeting (Tokyo EA 共催)
3. 7月18日東京支部 EA ポリシーに関する打ち合わせを開催。東京 YP から3人参加。(Online)
4. 8月21日 IEEE Tokyo YP Idea Contest 2021 (Tokyo EA 共催)
5. 11月6日 IEEE Tokyo Shin-etsu Joint Section WIE 2021 (Tokyo EA 共催)
6. 11月17日 IEEE Tokyo YP STEP 2021 (Tokyo EA 共催)
7. 11月29日 JC EA 第三回打ち合わせに参加。(Online)
8. 12月19日 Tokyo EA webinar on 5G and beyond: Standardization Perspectives

以上

会員の状況

1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
2000	6,961	268	4.00	-	265	416	5,259	727	294
2008	7,630	70	0.93	2	336	459	5,731	449	653
2009	7,814	184	2.41	2	336	459	5,880	408	729
2010	7,865	51	0.65	2	331	473	5,937	401	721
2011	7,763	-102	-1.30	2	335	497	5,800	416	713
2012	7,987	224	2.89	2	343	511	5,959	372	800
2013	7,911	-76	-0.95	2	342	507	5,937	280	843
2014	7,849	-62	-0.78	2	346	517	5,985	245	754
2015	7,892	43	0.55	2	343	521	5,975	234	817
2016	7,835	-57	-0.72	2	343	532	5,982	210	766
2017	7,798	-37	-0.47	2	338	555	5,886	197	820
2018	7,850	52	0.67	2	333	569	5,892	202	852
2019	7,761	-89	-1.13	2	332	588	5,838	183	818
2020	7,601	-160	-2.06	2	329	610	5,736	187	737
2021	7,531	-70	-0.92	2	319	622	5,687	145	756

2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50								
1964	666			1	8	105	302	99	151
1970	1,179	73	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	198	11.53	-	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	173	6.48	-	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	253	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	486	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1995	8,892	547	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
2000	10,867	492	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2005	12,703	450	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2010	13,770	96	0.70	4	517	775	10,205	675	1,594
2017	14,214	-52	-0.36	3	509	974	10,494	361	1,873
2018	14,368	154	1.08	3	493	991	10,532	363	1,986
2019	14,232	-136	-0.95	3	489	1,050	10,385	336	1,969
2020	13,798	-434	-3.05	3	481	1,108	10,177	324	1,705
2021	13,753	-45	-0.33	3	475	1,147	10,123	244	1,761

略号： HM: Honorary Member
M: Member

F: Fellow
A: Associate

SM: Senior Member
St: Graduate Student, Student

IEEE 東京支部 2021年会計報告(1~12月) 活動ベース

2022.3.10

単位: JPY

2021年予算: US\$1= ¥100-'で試算(20年10月末 TTB¥103)

【収入の部】	2021年予算	中間(10月末)	2021年決算	備考
210 Meetings & Social Events 定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	0	22,000	講演会等の懇親会徴収分
310 Rebate from IEEE HQ 支部Rebate YP Rebate LMAG Rebate WIE Rebate SB Rebate Chapter Rebate	2,898,500 29,500 29,500 0 0 979,000	3,129,283 24,177 32,419 24,177 91,433 953,897	3,129,283 24,177 32,419 24,177 91,433 953,897	
320 Region Receipts LMAG FUND YP FUND WIE FUND その他 Fund等	0 0 0 0	230,782 0 0 21,302	440,122 0 57,545 274,500	R10 Fund,Award 賞金受領 IEEE Tokyo-Shinetsu Section joint WIE Affinity Group Future Technology development by Women Engineers Region 1U SYWL entertainment prize 200\$,Result Announcement: 2021 R10 Section Incentives 2000\$
330 Sections or Councils JCからのSection Assessment還元	1,988,985	2,133,101	2,169,567	SA総額の15%
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards) 監査費用サポート	180,000	180,000	180,000	
334 IEEE HQ & Societies 本部からのSection Assessment受取	13,259,900	14,220,674	14,463,781	前期: 130,909.27\$(108.63円換算) 後期: 2,112.32\$(115.09円換算)
340 雑収入 (CB口座) 345 雑収入 (CB以外)	9,000 3,000	3,357 100	6,084 102	
収入合計	19,377,385	21,044,702	21,869,087	
【支出の部】				
410 Meetings & Social Events 理事会・各委員会費 その他会合費 総会運営費用 講演会開催費用	50,000 50,000 650,000 560,000	0 3,250 278,844 131,370	4,480 3,250 278,844 291,347	
430 Advertising IEEE (Expense) 広告費	250,000	539,747	539,747	SMメダル、ピンバッチ、送付関連費用
480 Student Activities SB支援費 SB Rebate支払	700,000 0	0 0	57,081 68,021	
490 Other Program Expenses LMAG活動費 (Rebate & Fund & 支部補助) YP活動費 (Rebate & Fund & 支部補助) WIE支援費 (Rebate & Fund & 支部補助) その他イベントへの支出など SIGHT (Fund支払)	99,500 533,000 640,000 0 0	197,611 35,000 0 0 0	587,159 42,099 57,545 118,984 0	Fund等込み (支部支援 ¥100,000-) Fund等込み (支部支援 ¥300,000-) MAW参加支援
550 Support to Sections/Chapters Councilへの拠出金 Chapter Rebate 支払い	13,259,900 979,000	14,219,174 0	14,462,281 984,042	(海外送金手数料1500円控除)
事務局費1 計 事務局費2 計 事務局費3 計 予備費	3,000,000 500,000 340,000 800,000	2,500,000 416,667 191,180 0	2,997,615 337,625 -38,576 0	(注釈1) JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担) (注釈1) JC共通事務局費 サーバ運営費 (25%を東京支部負担) 東京支部 監査費用・手数料・備品等 Milestoneブランク立て替え (3月で回収予定)
支出合計	22,411,400	18,512,843	20,791,544	
収入-支出	-3,034,015	2,531,859	1,077,543	
前年度からの繰越金	9,542,405		9,542,405	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	6,508,390		10,619,948	(3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

(注釈1: 事務局費1~2については予算月割りの暫定額にて報告)

■ 12月末日 現預金残高(三井住友銀行+CB+小口)	13,982,621
内訳 普通預金	9,270,250
小口現金	20,000
東京YP口座	215,812
CB口座	4,476,559

2021年度IEEE 東京支部 決算報告書 (本部報告/監査)

本部報告(YP口座・本部引当金を含む)、監査基準

科 目	2021年12月31日	2020年12月31日
Balance Sheet		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金	9,270,250	11,854,991
○普通預金 (YP)	215,812	230,234
○CB預金	4,476,559	586,550
◇現金・預金合計	13,982,621	12,691,775
◇その他流動資産	※1 209,340	※1 -
流動資産合計 :	14,191,961	12,691,775
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
固定資産合計 :	145,600	145,600
資産合計 :	14,337,561	12,837,375
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
	※2 3,572,013	※2 3,149,370
2. 固定負債 (本部)		
	-	-
負債合計 :	3,572,013	3,149,370
3. 正味財産		
負債および正味財産合計 :	10,765,548	9,688,005
	14,337,561	12,837,375
Plofit and Loss		
I. 収益の部		
2. 10) 会議等参加費	22,000	-
2. 90) 不定期開催 会議/イベント収入	-	-
3. 10) 本部からのRebate受取	4,255,386	4,495,406
3. 20) 本部からのFund受取	772,167	361,340
3. 30) Councilからの受取 (SA還元分)	2,169,567	2,113,348
3. 32) その他本部からの受取	180,000	180,000
3. 34) 本部からのSection Assessment 受取	14,463,781	14,088,987
3. 40/3. 45) 受取利息	6,186	9,763
3. 70) その他受取	-	-
3. 90) Reserve Allocation Income	-	-
収益合計 :	21,869,087	21,248,844
II. 費用の部		
4. 10) 会合費	577,921	484,152
4. 30) 広告費	539,747	1,045,000
4. 80) Student Branch支援費	125,102	272,128
4. 90) その他活動費	805,787	329,650
5. 10) 事務所賃借料	623,942	572,140
5. 20) 交通費	-	-
5. 30) 給料諸給	1,197,344	-
5. 50) 支部およびChapter支援	15,446,323	15,241,182
5. 60) 事務局費および一般管理費	1,475,378	949,989
費用合計 :	20,791,544	18,894,241
正味財産増減額	1,077,543	2,354,603
期首正味財産	12,691,775	10,337,172
期末正味財産	13,769,318	12,691,775

科 目	2021年12月31日	2020年12月31日
Statement of Cash Flows		
I. 収入の部		
2. 10) 会議等参加費	22,000	-
2. 90) 不定期開催 会議/イベント収入	-	-
3. 10) 本部からのRebate受取	4,255,386	4,495,406
3. 20) 本部からのFund受取	562,827	638,933
3. 30) Councilからの受取 (SA還元分)	2,169,567	2,113,348
3. 32) その他本部からの受取	180,000	180,000
3. 34) 本部からのSection Assessment 受取	14,463,781	14,088,987
3. 40/3. 45) 受取利息	6,186	9,763
収入合計 :	21,659,747	21,526,437
II. 支出の部		
4. 10) 会合費	577,921	380,642
4. 30) 広告費	539,747	1,045,000
4. 80) Student Branch支援費	68,021	209,569
4. 90) その他活動費	692,707	491,830
5. 10) 事務所賃借料	-	-
5. 20) 交通費	-	-
5. 30) 給料諸給	-	-
5. 50) 支部およびChapter支援	15,379,435	15,241,182
5. 60) 事務局費および一般管理費	3,111,070	1,126,687
支出合計 :	20,368,901	18,494,910
現金・預金増減額	1,290,846	3,031,527
期首現金・預金残高	12,691,775	9,660,248
期末現金・預金残高	13,982,621	12,691,775

※1) 2021年度 未収 Fund (本部)

※2) 2021年度 未払 SB支援費・YP活動費、および事務局費 (Japan Council立替分)

Report of Independent Accountants

To the Chair of IEEE Tokyo Section

We have audited the accompanying IEEE ANNUAL GEOGRAPHIC UNIT FINANCIAL REPORT of IEEE Tokyo Section expressed in Japanese yen as of and for the year ended December 31, 2021.

The financial reporting package is the responsibility of IEEE Tokyo Section's chair. Our responsibility is to express an opinion on the financial reporting package based on our audit.

Except as discussed in the following paragraph, we conducted our audit in accordance with generally accepted auditing standards. Those standards require that we plan and perform the audit to obtain reasonable assurance about whether the financial reporting package is free of material misstatement. An audit includes examining, on a test basis, evidence supporting the amounts and disclosures in the financial reports. An audit also includes assessing the accounting principles used and significant estimates made by chair, as well as evaluating the overall adequacy of the presentation of the information in the financial reports. We believe that our audit provides a reasonable basis for our opinion.

We were unable to obtain sufficient appropriate evidence supporting Custody Banking Tokyo Section stated at JPY 4,476,559 at December 31, 2021.

The accompanying financial reporting package has been presented solely to enable IEEE HQ to prepare consolidated financial information and not to report on IEEE Tokyo Section as a separate entity. Accordingly, the financial reporting package is not intended to present fairly the financial position of IEEE Tokyo Section as of December 31, 2021 or the result of its operation for the year then ended in conformity with generally accepted accounting principles.

In the circumstances, we are unable to and do not express an opinion on whether financial information in the accompanying financial reporting package is present fairly in accordance with generally accepted accounting principles.

However, in our opinion, except for the effects of such adjustments, if any, as might have been determined to be necessary had we been able to examine evidence regarding the bank account, the financial information contained in the accompanying financial reporting package of IEEE Tokyo Section as of and for the year then ended December 31, 2021 has been properly prepared, in all material respects, to give the information required to be shown in accordance with the procedures in the L50 Financial Report Form and Instructions on the IEEE Web-site.

The report is intended solely for the use of IEEE HQ in connection with the preparation and audit of IEEE financial information. It should not be used for any other purpose.

Mori & Co.

Mori & Co.

February 17, 2022

IEEE 東京支部 2022 年 活動計画

1. 総会及び理事会

- 2022 年 IEEE 東京支部総会
3 月 10 日(木) 14:50～15:20 機械振興会館にて開催予定
- 理事会
以下日程にて開催予定
第 1 回理事会: 2022 年 3 月 10 日(木) 12:00～14:00 機械振興会館
第 2 回理事会: 2022 年 6 月 29 日(水) 15:00～17:00 住友電工
第 3 回理事会: 2022 年 9 月 6 日(火) 15:00～17:00 住友電工
第 4 回理事会: 2022 年 12 月 1 日(木) 15:00～17:00 未定

2. 財政運営

8 年前の円高に対応し、2013-14 年執行部により効果的な財政的な運用が行われた。その後の円安もあり、2021 年収支は健全。しかしながら為替変動は予断を許さないため円高リスクも考慮し安定した運営を目指す。2022 年では、コロナ後を見据え、オンライン・オフライン両面から会員獲得、会員継続、学会加入価値の向上に繋がる活性化施策を増やすなど、より積極的な運営をこころがける。

3. 講演会・学生支援活動

- 東京支部講演会の開催
Technical Program Committee を中心に、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画する。LMAG(Life Members Affinity Group)、YP(Young Professionals) ほか各グループとの共催や関連学会との協賛を積極的に推進する。
- Students Branch の支援

東京支部の学生ブランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学、早稲田大学、中央大学、東京農工大、電気通信大学、青山学院大学の 13 校で、日本全国の学生ブランチ

はその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学、兵庫県立大学、徳島大学、関西大学、同志社大学、福井大学、琉球大学、会津大学、広島支部 SB、信越支部 SB、室蘭工業大学 SB があり(全国合計 34 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。

学生ブランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけやイベント開催の経済的・技術的支援などを通じたブランチ活動の活性化と連携に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。

4. 若手会員及び Life 会員向け活動の活性化

2010 年 10 月に設立された Tokyo Life Members Affinity Group を中心に Life 会員自身の活動の活性化を支援する。また 2008 年 11 月に設立された Tokyo Young Professionals を中心に若手研究者の活性化支援を行う。さらに LMAG、YP に加え、Student Branch・Japan Council、Women in Engineering との世代・分野・所属を超えた連携・交流を推進する。

- Young Professionals

引き続き、YP Radio, オンライン勉強会を積極的に行う。また、YP Chair は Educational Activities(EA) Committee の Chair も兼ねるため、EA も積極的に行う。

- Life Members

3 月 10 日 LMAG 総会開催予定。LMAG 見学会、サロン、ニュースレターの発行など、引き続き Life 会員の交流を行う。

- Women in Engineering

Tokyo Shin-etsu Joint Sections WIE は 2020 年 7 月に設立され、東京支部および信越支部のメンバーが連携しながら活動を行なっている。今後も他 AG と連携しながら活発にイベント開催し、WIE の周知および会員の勧誘を行う。

- Educational Activities

EA Policy に基づき、東京支部内 Affinity Groups からの提案や協力を得て、各種イベントの立案や共催を進めて行く。

5. 認定及び表彰支援

- Milestone 認定支援

2014 年、日本で初めての Section 傘下の History Committee を常設委員会として発足した。

今後も、Milestone 認定への取り組みを引き続き積極的に行う。また、JC-HC のホームページ管理をおこなう。

- IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」「研究機関内に奨励活動を促進するキーパーソンを選定し、フェロー推薦、シニア申請を増やす」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2012 年からの施策を継続し、ノミネーションのための情報などを支部ホームページに掲載することによるノミネータ支援の強化を図るとともに、Fellow、支部会員、各研究機関への電子メールを通じての広報を推進することで推薦数増を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

6. 会員とのコミュニケーションと会員の拡大

(Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

- ホームページと Tokyo Bulletin

東京支部ホームページの内容更新および拡充を進め、会員への情報サービスの向上を図る。Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin (日本語、英語)を通じて、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。

- 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、引き続き Membership Development Committee の活動の活性化、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増加を図る。また、高グレード会員 (Fellow + Senior Member) の比率が、IEEE の全体平均より低い水準にあることを踏まえて、Senior Member の増強に向けた施策を検討する。

さらに、ホームページによる情報発信および効果的な活用を進め、支部独自の表彰制度の新設についての検討も行う。

7. Industry Promotion 活動の強化

東京支部が主催した MAW2015 に続き、関西支部主催で MAW2016、名古屋支部主催で MAW2017、福岡支部主催で MAW2018、仙台支部主催で MAW2019、広島支部主催で MAW2020、2021 年は札幌支部主催で MAW2021 が開催され、東京支部からも参加した。引き続き 2022 年には四国支部にて MAW2022 開催を予定しているため、支部からも参加し成功に向け支援を行う。

8.東京支部が所管となる Joint Chapter の運営支援

2014 年より着手していた施策である従来 Japan Council に所属していた各 Chapter を適切な支部に所属させる移行手続きは、本部への申請が 2016 年度に全て完了した。Chapter の移行支援を行っていた東京支部 Chapter Promotion Committee は 2016 年より Chapter Operation Committee と改めた。東京支部所管の Chapter に関する MOU 締結審議等の運営支援を継続して行う。また、Chapter 支援費の Section 移行については、JC COC 役員と移行に関する進め方について議論を進める予定。

9. 関連組織との連携、協力

● Japan Council 運営の支援

国内他支部(8 支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。

● IEEE 本部、R10 との連携

Section Congress や Region 10 Annual Meeting に参加し、他参加者との交流を図る。

本部役員の訪日に対し、IEEE Japan Office と連携して、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。また、各種国際会議を積極的に開催・参加する。

本部および Region 10 の各種委員会メンバーおよび各種 Award に対して、東京支部から積極的に推薦する。

● ボストン支部およびソウル支部との交流

2002 年 10 月に調印を行ったボストン支部、2006 年 6 月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、2008 年から実施している学生英語論文コンテストを継続開催するとともに、さらに交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画する。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

● 国内学会との協力関係の推進

IEEE 本部の国内学会との協働に関するルールに沿って、国内関連学会との協力関係を推進する。MOU 更新作業を継続する。

以上

IEEE 東京支部 2022年計画案 (活動ベース)

2022.3.10

109

単位: JPY

2022年予算: US\$1=¥109-で試算(22年2月15日 TTB¥)

【収入の部】	2021年予算	2021年決算(確定)	2022年予算	備考
210 Meetings & Social Events 定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	22,000	0	
290 Meetings & Social Events 不定期開催 会議/イベント 収入	0	0	0	
310 Rebate from IEEE HQ 支部Rebate	2,898,500	3,129,283	3,159,365	\$28,475- (2021年実績で試算)
YP Rebate	29,500	24,177	23,980	\$220- (想定、2021年度実績)
LMAG Rebate	29,500	32,419	32,155	\$295- (想定、2021年度実績)
WIE Rebate	0	24,177	23,980	\$220- (想定、2021年度実績)
SB Rebate	0	91,433	0	
Chapter Rebate	979,000	953,897	946,120	\$ 8,680- (想定、2021年度実績)
320 Region Receipts LMAG FUND	0	440,122	0	
YP FUND	0	0	0	
YP FUND	0	57,545	0	
その他 Fund等	0	274,500	230,180	2021年 Section Incentive 2000ドル
330 Sections or Councils JCからのSection Assessment還元	1,988,985	2,169,567	2,167,994	SA総額の15%
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards) 監査費用サポート	180,000	180,000	180,000	
334 IEEE HQ & Societies 本部からのSection Assessment受取	13,259,900	14,463,781	14,453,291	\$133,809-(2021年実績予測)
340 雑収入 (CB口座)	9,000	5,991	5,000	
345 雑収入 (CB以外)	3,000	102	3,000	
収入合計	19,377,385	21,868,994	21,225,065	
【支出の部】				
410 Meetings & Social Events 理事会・各委員会費	50,000	4,480	300,000	2022年第4回理事会会場費、懇親会費用計上
その他会費	50,000	3,250	50,000	マルチ関連費用等
総会運営費用	650,000	278,844	650,000	
講演会開催費用	560,000	291,347	520,000	予算計画回答済み
430 Advertising IEEE (Expense) 広告費	250,000	539,747	500,000	SMメダル、メダル・ピンバッジ送付費用
480 Student Activities SB支援費	700,000	57,081	700,000	予算計画回答済み
SB Rebate支払	0	68,021	0	
490 Other Program Expenses LMAG活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	99,500	587,159	102,155	支部からの支援70,000円
YP活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	533,000	42,099	543,000	予算計画回答済み
WIE支援費	640,000	57,545	320,000	予算計画回答済み
その他イベントへの支出など		118,984	0	
SIGHT (Fund支払)	0	0	0	Fund応募で対応予定
550 Support to Sections/Chapters Councilへの拠出金	13,259,900	14,462,281	14,453,291	
Chapter Rebate 支払い	979,000	984,042	946,120	
事務局費				
事務局費1 計	3,000,000	2,997,615	3,000,000	JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担)
事務局費2 計	500,000	337,625	500,000	JC共通事務局費 サーバ運営費 (25%を東京支部負担)
事務局費3 計	340,000	-38,576	340,000	*全体で200万円計上予定 東京支部 監査費用・手数料・備品等
予備費				
その他	800,000	0	800,000	旅費、その他記念品作成70+10万円(予備)
支出合計	22,411,400	20,791,544	23,724,566	
未払組み戻し (YP活動費)				
収入-支出	-3,034,015	1,077,450	-2,499,501	
前年度からの繰越金	9,542,405	9,542,405	10,619,855	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	6,508,390	10,619,855	8,120,354	(※3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

2022年東京支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	馬場 俊彦 Toshihiko Baba	横浜国立大学 大学院工学研究院	<i>for contributions to photonic nanostructure waveguides and emitters</i>
2	東京	Michiel Bacchiani	Google Japan G.K.	<i>for leadership in commercial automatic speech recognition systems</i>
3	東京	陳 新開 Xinkai Chen	芝浦工業大学	<i>for contributions to nonlinear adaptive control and nonlinear observer design for mechatronic systems</i>
4	東京	計 宇生 Yusheng Ji	国立情報学研究所	<i>for contribution to distributed computing in mobile and dynamic systems</i>
5	東京	Abderrahmane Kheddar	AIST-CNRS ロボット工学連携研究ラボ	<i>for contributions to robotic haptics and humanoids</i>
6	東京	宮崎 守泰 Moriyasu Miyazaki	三菱電機株式会社	<i>for leadership in developments of airborne active-phased-array radars and satellite communication microwave subsystems</i>
7	東京	水野 弘之 Hiroyuki Mizuno	日立製作所	<i>for contributions to leakage current reduction in integrated circuits</i>
8	東京	本村 真人 Masato Motomura	東京工業大学	<i>for contributions to memory-logic integration of reconfigurable chip architecture</i>
9	東京	大場 義洋 Yoshihiro Ohba	Kioxia	<i>for contributions to standardization of network security protocols</i>
10	東京	杉井 信之 Nobuyuki Sugii	トライポッド・デザイン	<i>for contributions to fully depleted silicon-on-insulator technology</i>
11	東京	寺井 清寿 Kiyohisa Terai	東芝	<i>for contribution to optical fiber sensors and electrical discharge applications</i>

2022年他支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	関西	荒木 章子 Shoko Araki	NTT株式会社	<i>for contributions to blind source separation of noisy and reverberant speech signals</i>
2	関西	河原 英紀 Hideki Kawahara	和歌山大学産学連携 イノベーションセンター	<i>for contributions to auditory-inspired speech signal processing and science</i>
3	関西	上田 哲三 Tetsuzo Ueda	パナソニック株式会社	<i>for contributions to III-V compound semiconductor technologies</i>

2022年IEEE Medals, Technical Field Awards, 日本からの受賞者

【Medals】

No.	名称	氏名	Citation
1	IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies	佐川 真人 (大同特殊鋼)	<i>For contributions to the development of rare earth-iron-boron permanent magnets for use in high-efficiency motors, generators, and other devices.</i>

【Technical Field Awards】

No.	名称	氏名	Citation
1	IEEE Donald O. Pederson Award in Solid-State Circuits	松澤 昭 (東京工業大学)	<i>For pioneering contributions to low-power, analog-to-digital converters in systems on a chip (SoCs) for digital video applications.</i>

The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

Article I - Name and Territory

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

Article II - Officers

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article III - Standing Committees

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
 - Chapter Operations
 - Fellow Nominations
 - Membership Development
 - Nominations
 - Technical Program
 - Publications
 - Student Activities
 - History
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article IV - Management

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

Article V - Nomination and Election of Officers

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

Article VI - Business Meeting

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

Article VII - Finances

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

Article VIII - Amendments

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ($\frac{2}{3}$) majority vote of the Section Executive Committee.

3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 29th March 2016.

事務局連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館 517 号室

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: tokyosec@ieee-jp.org